

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、  
 ご利用いただきたくご案内いたします。  
 当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を  
 重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ  
 どよろしくお願い申し上げます。

謹白

### 記

■ 実施日 2019年12月25日(水) ご依頼分より

### ■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
R626 8	抗ヘリコバクター ピロリ抗体〔LA〕 5E064-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00 (X)	冷蔵 (28日)	2~4	80 ※5	ラテックス 凝集比濁法	10未満 (U/mL)	
R627 5	胃がんリスク層別化 検査 (ABC分類) 〔LA〕 3B347-0000-023-920	血清 1.0		冷蔵 (21日)		-	ラテックス 凝集比濁法 CLEIA	ピロリ抗体 10未満 (U/mL)	<ピロリ菌の 除菌治療前> ペプシノゲンとヘリ コバクターピロリ抗 体を実施し、それぞ れの検査結果とABC分 類をご報告いたしま す。
R628 2	胃がんリスク層別化 検査 (ABC分類) 除菌あり〔LA〕 3B347-0000-023-920							+3: PG1 30ng/mL以下 かつ 1/2比 2.0以下	

※5: 免疫学的検査判断料

今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただきます。

項目コード	項目名	受託中止日
6185 5	抗ヘリコバクターピロリIgG抗体	2020年3月31日(火) ご依頼分を もって受託中止
6396 5	胃がんリスク層別化検査 (ABC分類)	
6243 2	胃がんリスク層別化検査 (ABC分類) 除菌あり	

●抗ヘリコバクターピロリ抗体〔LA〕、胃がんリスク層別化検査（ABC分類）〔LA〕  
従来からの問題点（陰性高値）を無視できると推奨されたピロリ菌抗体検査です。

胃がんの主な発症原因はピロリ菌感染であり、ピロリ菌の感染歴を調べるために、血液による抗ヘリコバクターピロリ抗体検査が広く用いられています。

これまで、ピロリ菌に現在感染している状態を“現感染”、感染していない状態を“未感染”と分けていますが、血液中のピロリ菌抗体検査において、未感染と現感染が混在する問題（陰性高値）がありました。

本検査は、上記の問題点を無視できると日本胃がん予知・診断・治療研究機構から推奨されている試薬を使用しており、より精度が高い検査です。

除菌対象となる現感染者を効率的に把握し、胃がん予防の一助としてご活用ください。

※ピロリ菌の除菌後など、過去の感染が推定される状態を“既感染”に分けていますが、抗体価のみでは“未感染”および“現感染”との診断が困難なため、除菌治療後にABC分類を依頼する際は「[R628 2] 胃がんリスク層別化検査(ABC分類)除菌あり〔LA〕」での依頼をお願いいたします。

▼疾患との関連

▼関連する主な検査項目

胃がん  
ヘリコバクターピロリ感染症

便中ヘリコバクターピロリ抗原  
ヘリコバクター感受性検査

▼検査要項

検査項目名	抗ヘリコバクターピロリ抗体〔LA〕	胃がんリスク層別化検査（ABC分類）〔LA〕	胃がんリスク層別化検査（ABC分類）除菌あり〔LA〕
項目コードNo.	R626 8	R627 5	R628 2
検体量	血清 0.5 mL	血清 1.0 mL	
容器	S09→A00 (X) ポリスピッツ		
保存方法	冷蔵保存してください		
所要日数	2～4 日		
検査方法	ラテックス凝集比濁法	ラテックス凝集比濁法、CLEIA	
基準値	10未満 (U/mL)	ピロリ抗体 10未満 (U/mL) ペプシノゲン +3 : PG1 30ng/mL以下 かつ 1/2比 2.0以下 +2 : PG1 50ng/mL以下 かつ 1/2比 3.0以下 +1 : PG1 70ng/mL以下 かつ 1/2比 3.0以下 - : 上記以外	
検査実施料	80点 (「D012」感染症免疫学的検査「12」)		
判断料	144点 (免疫学的検査判断料)		
備考		<ピロリ菌の除菌治療前> ペプシノゲンとヘリコバクターピロリ抗体を実施し、それぞれの検査結果とABC分類をご報告いたします。	<ピロリ菌の除菌治療後> ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、ABC分類の判定対象にはなりません。除菌判定結果に関わらず、E群（除菌群）としてご報告いたします。

●参考文献

乾 正幸, 他 : 日本ヘリコバクター学会 誌 19 (1) : 33~42, 2017. (検査方法参考文献)

藤岡 利生, 他 : 医学と薬学 43 (3) : 573~579, 2000. (臨床的意義参考文献 : ピロリ抗体)

三木 一正, 他 : 胃がんリスク層別化検診 (ABC検診) : 1~4, 2019. (臨床的意義参考文献 : ABC分類)